

	項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
膵・ 消化管 関連 検査	0241	インスリン (IRI) 4G010-0000-023-051-01	血清 0.5	1	(分離後) 凍結 (21日)	1~2	112 生II	CLIA法	$\mu\text{U/mL}$ 3.0~15.0 負荷前 (空腹時)	溶血注意	糖尿病 インスリノーマ クッシング症候群
	0281	C-ペプチド (CPR) 4G020-0000-023-051-01 4G020-0000-004-053-01	血清 0.5	1	冷蔵	2~3	117 生II	CLIA法	ng/mL 1.5~3.5 負荷前		糖尿病 インスリノーマ インスリン自己免疫症候群
	0299		蓄尿 1.0	2	(分離後) 凍結 (20日)	3~4		ECLIA法	$\mu\text{g/day}$ 17~181 蓄尿	24時間尿量を明記 (注) 下記参照 ※33	
	3233	抗GAD抗体 5G340-0000-023-023-01	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	134 生II	ELISA法	U/mL 5.0未満	※02	インスリン依存型 糖尿病 (IDDM)
	2301	インスリン抗体 5G360-0000-023-002-00	血清 0.5	1	冷蔵	5~8	110 免疫	RIA PEG法	nU/mL 抗体濃度:125.0未満 結合率:0.4未満 (%)	※01	インスリン自己免疫症候群 インスリン治療中糖尿病 甲状腺機能亢進症
	4522	インスリン抗体 (結合率) 5G360-0000-023-002-34	血清 0.5	1	冷蔵	5~8	110 免疫	RIA PEG法	% 0.4未満	※01	
	2316	ガストリン 4G040-0000-023-002-01	血清 0.5	1	(分離後) 凍結	3~5	110 生II	RIA PEG法	pg/mL 200以下 負荷前	※02	Zollinger-Ellison症候群 胃炎 慢性腎障害 多発性内分泌腺腫症
	5014	グルカゴン 4G030-0000-022-001-01	血漿 0.7	16	(分離後) 凍結	5~8	150 生II	RIA2抗体法	pg/mL 71~174	専用容器 (アプロチニン入りEDTA管) に採 血混和後、冷却遠心分 離し、血漿を凍結。 ※01	グルカゴン産生腫瘍 糖尿病性ケトアシドーシス

- ① C-ペプチド (CPR) を同時に血液および尿の両方の検体について測定した場合は、血液の場合の所定点数のみを算定する。
- ② 抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体 (抗GAD抗体) は、すでに糖尿病の診断が確定した患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定できる。

(注) 尿C-ペプチド安定化剤1袋全量を蓄尿前、あるいは初回排尿時に尿と同時に蓄尿容器に入れてください。蓄尿後はよく混和したのち、必要量を滅菌スピッツに移し替えて凍結保存してご提出ください。防腐剤として塩酸を添加するとCPR活性の低下を生じるため、使用を避けてください。また、尿C-ペプチド安定化剤は他の測定項目に影響を与える場合があるため、C-ペプチド専用の蓄尿にお使いください。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
5467	ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (hANP) 4Z270-0000-022-052-01	血漿 0.5	16	(分離後)凍結 (6ヵ月)	3~4	① 233 生Ⅱ	CLEIA法	pg/mL 43.0以下	溶血は低値の影響があります。 ※01	心不全 心筋梗塞 慢性腎不全
1450	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) 4Z271-0000-022-051-01	血漿 0.5	13	(分離後)凍結	3~4	① 140 生Ⅱ	CLIA法	pg/mL 18.4以下	採血後、冷蔵保存にて6時間以内に血漿分離し、速やかに凍結保存してください。 ※01	心不全 心筋梗塞
4830	ヒト脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) 4Z272-0000-023-053-01	血清 0.5	1	冷蔵	2~3	① 140 生Ⅱ	ECLIA法	pg/mL 125以下 (心不全除外診断のカットオフ値)	※33	心不全 心筋梗塞
4599	ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) 5C091-0000-023-062-01	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	② 147 生Ⅰ	ラテックス凝集法	ng/mL 6.2未満	※02	心筋梗塞
2341	ミオグロビン 5C090-0000-023-051-01 5C090-0000-001-001-01	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	② 147 生Ⅰ	CLIA法	ng/mL 男性:154.9以下 女性:106.0以下		心筋梗塞 筋ジストロフィー症
2342		尿 6.0	49	冷蔵 (21日)	3~6	② 147 生Ⅰ	RIA 2抗体法	ng/mL 10以下	(部分尿) 採尿後、速やかに専用容器に入れ、よく混和させ冷蔵してください。凍結は避けてください。 ※02	
5217	心室筋ミオシン軽鎖Ⅰ 5C092-0000-023-023-01	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	③ 184 生Ⅰ	EIA法	ng/mL 2.5以下		心筋梗塞 心筋炎
0156	心筋トロポニンT定量 5C093-0000-023-051-01	血清 0.5	1	(分離後)凍結	3~5	④ 120 生Ⅰ	ECLIA法	ng/mL 0.014以下 急性心筋梗塞診断のカットオフ値 0.100	※02	心筋梗塞 不安定狭心症

①●脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP)

- ア 脳性Na利尿ペプチド (BNP) は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
- イ 脳性Na利尿ペプチド (BNP)、脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) 及び心房性Na利尿ペプチド (ANP) のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ウ 本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に本検査の実施日 (脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) 又は心房性Na利尿ペプチド (ANP) を併せて実施した場合は、併せて当該検査の実施日) を記載する。

●脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)

- ア 脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP) は、心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
- イ 脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント (NT-proBNP)、脳性Na利尿ペプチド (BNP) 及び心房性Na利尿ペプチド (ANP) のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- ウ 本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に本検査の実施日 (脳性Na利尿ペプチド (BNP) 又は心房性Na利尿ペプチド (ANP) を併せて実施した場合は、併せて当該検査の実施日) を記載する。

②心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) 定性及び定量は、ELISA法、免疫クロマト法、ラテックス免疫比濁法又はラテックス凝集法により、急性心筋梗塞の診断を目的に用いた場合のみ算定する。ただし、心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) 定性又は定量とミオグロビン定性又は定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

③心室筋ミオシン軽鎖Ⅰは、同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。

④心筋トロポニンIと心筋トロポニンT (TnT) 定性・定量を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
2191	レニン活性(PRA) 4Z010-0000-022-001-01	血漿 0.3	13	(分離後) 絶凍 (1ヵ月)	4~6	103 生II	RIA2抗体法	ng/mL/hr 臥位:0.3~2.9 立位:0.3~5.4	※02	本態性高血圧 腎性高血圧 褐色細胞腫 パーター症候群 レニン産生腫瘍
4999	アルドステロン /レニン活性比 4D120-0000-022-919-02	血漿 0.8	13	(分離後) 凍結 (1ヵ月)	4~6	131 + 103 生II	アルドステロン :RIA固相法 レニン活性 :RIA2抗体法	下記参照	※02	レニン産生腫瘍
5136	レニン定量(ARC) 4Z020-0000-022-006-01	血漿 0.5	13	(分離後) 絶凍 (20日)	5~9	111 生II	RIA固相法 (IRMA)	pg/mL 随時:3.2~36.0 臥位:2.5~21.0 立位:3.6~64.0	採血後、速やかに4℃で 冷却遠心し、漿血分離 ※33	
2192	アンギオテンシンI 4Z025-0000-022-001-01	血漿 0.2	13	(分離後) 絶凍	6~8		RIA2抗体法	pg/mL 110以下		腎性高血圧 悪性高血圧 褐色細胞腫
2193	アンギオテンシンII 4Z030-0000-022-001-01	血漿 0.3	13	(分離後) 絶凍	6~8		RIA2抗体法	pg/mL 22以下	※02	レニン産生腫瘍 低レニン性高血圧症 本態性高血圧症 原発性アルドステロン症
2248	サイクリックAMP (C-AMP)	血漿 0.3	13	(分離後) 絶凍 (1ヵ月)	5~8	175 生II	RIA DCC法	pmol/mL 9.8~24.2	※01	腎不全 心筋梗塞 肝硬変
5166	4Z255-0000-022-004-01 4Z255-0000-004-004-01	蓄尿 2.0	35	(分離後) 絶凍	4~10	175 生II		μmol/day 1.8~6.3	トルエン1~2mLを入れて 冷暗所に24時間蓄尿 し、よく混和し必要量を ご提出ください。 ※02	副甲状腺機能低下症 甲状腺機能異常 心筋梗塞 躁うつ病
4974	エリスロポエチン 4Z275-0000-023-052-01	血清 0.7	1	冷蔵	3~4	209 生II	CLEIA法	mIU/mL 4.2~23.7	※01	赤血球増加症 腎性貧血 鉄欠乏性貧血 再生不良性貧血
0441	血液ガス分析 3H080-0000-019-270-00	血液2.0 (プレーザ バック使用)	専用	直ちに 冷却	1	144 生I	電極法			代謝性・呼吸性アシドー シス・アルカローシス 慢性肺疾患
2490	ホルター心電図 9A151-0000-000-000-00	ICカード	—	—	2~10	1500 生体 検査料				不整脈 安静時狭心症

- ①レニン活性とレニン定量を併せて行った場合は、一方の所定点数のみ算定する。
- ②エリスロポエチンは、赤血球増加症の鑑別診断及び重度の慢性腎不全患者又はエリスロポエチン若しくはダルベポエチン投与前の透析患者における腎性貧血の診断のために行った場合に算定する。
- ③(1) 血液ガス分析の所定点数には、ナトリウム、カリウム、クロール、pH、PO₂、PCO₂及びHCO₃⁻の各測定を含むものであり、測定項目数にかかわらず、所定点数により算定する。なお、同時に行ったヘモグロビンについては算定しない。
- (2) 血液ガス分析は当該検査の対象患者の診療を行っている保険医療機関内で実施した場合にのみ算定できるものであり、委託契約等に基づき当該医療機関外で実施された検査の結果報告を受けるのみの場合は算定できない。ただし、委託契約等に基づき当該保険医療機関内で実施された検査について、その結果が当該保険医療機関に速やかに報告されるような場合は、所定点数により算定する。
- なお、在宅酸素療法を実施している入院施設を有しない診療所が、緊急時に必要、かつ、密接な連携を取り得る入院施設を有する他の保険医療機関において血液ガス分析を行う場合であって、採血後、速やかに検査を実施し、検査結果が速やかに当該診療所に報告された場合にあっては算定できるものとする。
- ④ホルター型心電図検査(解析料を含む)
- 30分又はその端数を増すごとに 90点
 - 8時間を超えた場合 1,500点
- 注 解析に係る費用は、所定点数に含まれるものとする。
- (1) ホルター型心電図検査は、患者携帯用の記録装置を使って長時間連続して心電図記録を行った場合に算定するものであり、所定点数には、単に記録を行うだけではなく、再生及びコンピューターによる解析を行った場合の費用を含む。
- (2) やむを得ず不連続に記録した場合においては、記録した時間を合算した時間により算定する。また、24時間を超えて連続して記録した場合であっても、「2」により算定する。

[4999] アルドステロン/レニン活性比 基準値

アルドステロン値	随 時	35.7～240	pg/mL
	臥 位	29.9～159	
	立 位	38.9～307	
レニン活性値	臥 位	0.3～2.9	ng/mL/hr
	立 位	0.3～5.4	
アルドステロン/レニン活性比	200以下		

